

第3回 ACL サブ WG アタッチシートに関する調査 結果報告

期間：2022年10月5日～2022年10月20日

対象：日本船主協会・外国船舶協会・国際フレイトフォワードーズ協会 会員企業

回答数：19社(コンテナ船利用14社/在来・自動車専利用3社/両方1社/利用していない1社)

※個社の運用、詳細な受信割合についてご回答いただいた内容は公表を控えていただいております

結果

1. アタッチシートで受領するファイルの種類とおよその割合

単位(回答数)

	テキスト形式 (Word,Excel含む)	PDF	画像ファイル (jpeg,png,gif等)	その他
100%	0	1	0	0
80%以下	1	2	0	1
60%以下	3	5	0	0
40%以下	4	3	0	0
20%以下	5	3	0	1
10%以下	5	4	18	16

※すべて100%とする回答が1社あり、その社は除いた

その他

- ・アタッチシートで受領するファイルの種類については「その他」を選択しておりますが、こちらはFAXで受け取っているという意味です。

100%を10、80%を8、60%を6、40%を4、20%を2、10%を1、としてポイント化すると以下のとおり。
(回答数*ポイント)

	テキスト形式 (Word,Excel含む)	PDF	画像ファイル (jpeg,png,gif等)	その他
100%	0	10	0	0
80%以下	8	16	0	8
60%以下	18	30	0	0
40%以下	16	12	0	0
20%以下	10	6	0	2
10%以下	5	4	18	16
合計	57	78	18	26

現時点ではテキスト形式より、PDF形式の利用割合が比較的高い傾向にあった。その他にFAXでの送付分(非テキスト形式)が含まれていることを勘案すると、非テキスト形式(PDF+その他)104に対しテキスト形式57と、非テキスト形式がテキスト形式の約1.8倍となる結果。NACCSの対応方針をテキスト形式に限るとしている状況に対し、非テキスト形式の割合が高く、対応は困難と思われる。

2. アタッチシートとして扱われる情報(複数回答可)

情報の種類	回答数	割合
Marks & Numbers(記号番号)	17	44%
Description of Goods(品名)	13	33%
Dimension(寸法)	2	5%
Container(コンテナ番号、コンテナ毎の重量等)	4	10%
その他	3	8%

その他

- ・車台番, Maker, Model, Year, LWH 等
- ・外地税関申告用の TAX Code や ID

3. アタッチシートとして扱われる理由(複数回答可)

理由	回答数	割合
荷主から受領したデータをそのまま添付している	14	44%
ACL上の入力欄・入力桁数では足りない	12	38%
ACL上に入力項目がない	3	9%
その他	3	9%

その他

- ・マーク、記号、漢字、画像をそのまま使用、システム上入力欄の桁数では足りない等
- ・MARK に特有のロゴが入っているため
- ・ACL 受信なし

4. アタッチシートを NACCS で授受する場合必要な入力欄・桁数

記号番号	品名	項目指定なし
・1行20文字(約3800文字)	・4000文字(ベトナム向け、DESCRIPTION欄アタッチの使用は不可となっているため) ・1行35文字(約3800文字)	・1から10ページまでと幅が広い ・50 ・記号番号、品名を一つのfieldで無制限に文字数が入るようにしてほしい ・横に30文字前後、縦に9行。一文字が長かったり、スペースや改行指示があると文字数は更に減ります ・35*1000 ・254桁 ・アタッチ3枚程度対応可能な桁数 ・上限なし ・70～90文字程度

※NACCS の仕様上、無制限や上限なしは不可

その他

- ・現状で不足なし 2 回答
- ・回答不可・控える 2 回答
- ・運用方法の回答 1 回答・
- ・ACL 受信なし

参考：現在の NACCS 入力項目

ACL 記号番号 12,600 桁(700 桁 X18 欄) ・ 品名 8,750 桁(875 桁 X10 欄)
ページ数の回答については各社のフォントや 1 ページの文字数が不明なため、仮に 1 ページ 2,268 桁*
とすると 10 ページの場合 22,680 桁(EDIFACT35 桁区切りとした場合 648 行)程度。

*Word(10.5pt/MSP ゴシック)半角 1 行 63 桁 X36 行と想定

結果、各社回答はばらつきがあり一律の対応は困難。

また、NACCS の入力項目があっても使用されずに、アタッチを添付される場合があることも思料する。

5. アタッチシートを NACCS で授受する場合希望する受信形式

希望する形式	回答数	割合
ACL情報に項目を追加し、1電文で受信したい	12	63%
桁数が不足する場合、ACL情報と別の電文で構わない	3	16%
アタッチシートはNACCSでの授受を希望しない	2	11%
その他	2	11%

その他

- ・入力桁数を増やして可能な限り乙仲様で入力。もしくはアタッチシートを PDF で NACCS 受信、船社システム (MFT) へ自動アップロードされる仕様が理想。
- ・ACL 受信なし
- ・技術的には桁数が不足する場合、ACL 情報と別電文でも構いません。
Mark&Numbers, Commodity Description 欄の訂正があった場合、どの箇所が訂正・追加となったのか比較できる様に 1 電文で受信、前後の電文内容と比較し、弊社 User 目線で訂正・追加箇所が判りやすく表示できる様に出来ればと考えています。
- ・(ご質問)ACL の本情報としての"1 電文"か、品名情報としての"1 電文"でしょうか
(NACCS)本情報と記号番号の統合も検討しておりますので、どちらの場合も対応可能と想定します。

6. その他ご意見

- ・アタッチシートという概念自体が世界基準で廃止されている中で、日本では依然としてアタッチシートを受け入れています。いずれは日本でも全船社でアタッチシート自体が対応不可になると見込まれますので、NACCS でもそれを見越して対応しないことが重要と考えます。
- ・attach sheet 自体を無くす方向で官民併せて働き掛けをすることを希望します。他国の BL に

attach sheet が付いているのをほぼ見たことはありません。

- ・ACL サブワーキングでの議論と相反するかもしれませんが、文字化できない SHIPPING マークを画像データで受信できる仕組みができればありがたいです。
- ・アタッチシートそのものがなくなるのがベストです。電文に添付されてもシステムへの取り込みができないので今の運用であるメール送信が今のところベストです。
- ・テキスト(Word、Excel)での受信を強く希望します。

NACCS 対応で運用負担の軽減を図れるか、を目的として調査を実施したが、結果として各社のニーズが一致せず、現仕様の項目追加とするか、といった具体的な対応の見極めまでできない状況である。一方、アタッチシート自体の存続についてのご意見が複数寄せられている。アタッチシートの廃止について可能性がある状況において対応することの意義に疑問があること、送受信者双方アタッチシートへの負担を感じておられる状況において NACCS でアタッチシート対応および運用の確立を目指すことが、負担軽減に逆行することになるのではないかという懸念が生じる結果となった。

結果、7 次 NACCS においても ACL 業務でのアタッチシートの授受対応は見送ることとしたい。